

第265回小集団活動研修会・実施報告

過日実施致しました研修会の概要を下記にご報告致します。

1. 日時

平成26年 9月 5日 (金) 8:30 ~ 17:00

2. 場所

協同の杜 JA研修所 第二研修室
山形市東古館123番地 電話023 - 643 - 1238

3. 参加者

15社、38名 (講師:1名 幹事・役員:5名) 総参加者数:44名

4. プログラム

月/日	時 間	項 目	備 考
9月5日 (金)	8:30 ~ 9:00	受 付	事務局
	9:00 ~ 9:10	開会の挨拶	秋保副地区長
		オリエンテーション	村石副幹事長
	9:10 ~ 9:15	講 師 紹 介	阿部幹事長
	9:15 ~ 12:00	【講義】 現場力を高める「見える化」と 「ムダ取り」の実践(1)	
	12:00 ~ 12:50	昼 食 ・ 休 憩	
	12:50 ~ 13:20	【講義】 現場力を高める「見える化」と 「ムダ取り」の実践(2)	
	13:20 ~ 15:30	グループ演習(事例研究)	
	15:30 ~ 16:30	グループ演習の結果発表とまとめ	
	16:30 ~ 16:50	質疑応答	
	16:50 ~ 17:00	アンケート記入/回収・まとめ	事務局
	17:00	閉会の挨拶	加藤世話人

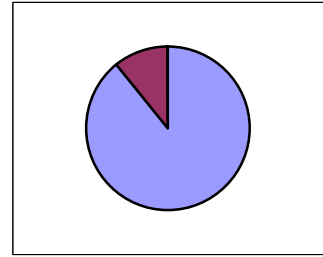
第265回 小集団活動研修会 アンケート集計結果

参加者 38名中、37名の方からご回答して頂きました。

1. 講義 「職場での見える化」について

1. 良く解り、自社で展開出来る
2. 理解出来たが自サークル展開は？
3. 理解出来なかった

33	/	37	89%
4	/	37	11%
0	/	37	0%



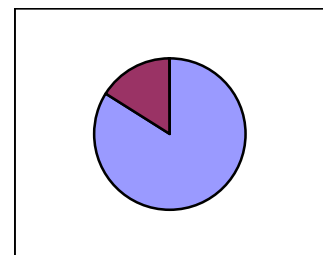
<ご意見欄>

- ・自分の職場でも見たくない物、めんどくさい物に目をそらさず見ていきたいと思いました。
- ・見せたくないものをいかにオープンにして改善に結びつけるか非常に難しく感じている。
- ・現場での問題の見方がわかり、身近な見える化もわかりやすかった。見えなかった物を見る化して今後の作業にいかしていきたい。
- ・工場内で見える化を進めているところなので参考になる点が多々ありました。
- ・プロセスの見える化が不十分なことが問題。解決方法(具体策)はこれからの研修でヒントを得たい。
- ・目標に対する結果の見える化は比較的容易と思うが、プロセスを見る化するのが大事であると感じた。そうしないとなかなか改善には結びつかない。
- ・現状の前向きな「否定」が具体的で解りやすかった
- ・自分の職場でも見えない、隠れている事を見る様にしていかなければならないと思った。
- ・説明が分かり易かった。
- ・悪い情報を、共有を、今以上に見える化していきたいと思う。4定を社内で実施していきたい。
- ・見える化について改めて理解できた。
- ・自分を見直し、本来の仕事 = 問題を早期に解決し、正常に戻ることが他にも無いかな5ゲン主義に基づき行っていきたい。
- ・テキストが詳しく書かれており大変よかった。
- ・聞いてみると当たり前の事だが、実際現場でやれていないのが現状です。これから自社で展開します。
- ・「見えない物を見る」そして「改善・ムダ取りする」ことのできる人材育成をするという言葉に感銘を受けた。
- ・具体的な事例を紹介していただき大変わかり易かったです。特に「現場力」等の定義が納得できる表現でズバリと説明され参考になりました。
- ・見せたくないものを「見える」ようにする。隠れているものを「見える」ようにするを実践したい。
- ・自分の会社の見える化が展開できていないのが良くわかった。
- ・身近な問題を見つけ、作業していく上でわかりやすく展開していきたい。
- ・見せたくない物を見る様にしていく事は大事だと思います。問題を会社全体で共有できます。ただ、お客様が会社に来られる事が多いため、初めは社員のみの見える化を進めていきます。
- ・展開や実践している内容ですが100%できていない。やっていないことも多い。目先のことしか見えておらず、掘り下げてなぜやるのか共有したい。やらされている やるに変化させる考えを身につけたい。
- ・色々なパターンの見える化が分かる様になった。特に見せたくない物を見る化(表面化)する事で問題をクリアして行く事が大切と思った
- ・最近QCサークル小集団活動を始めたばかりで、社員全員がどういものななかまだわからない。
- ・見える化の5つの見えるや図表などを職場に掲示したい。
- ・見える、視える、観える…の考え方をさらに理解したい。物の見える化改善ばかりを考えていたが状況、顧客、知識、経営の見える化について今後取り組んでいく。
- ・見える化を一部間違っ理解している所があり、再認識できた。儲かる5Sについてももう少し詳しく説明が欲しかった。
- ・職場からの問題点、意見が上がってこないの、見える職場を目指す。
- ・現場力は人材育成であり、悪い情報ほど早くみえる化を進め、情報の共有化により、改善を進めなければならないことを理解できた。
- ・各Grのカイゼン活動での活動活性化を進め、業務向上を図る。

2. 講義 「職場でのムダ取り」について

1. 良く解り、自サークル展開できる
2. 理解出来たが自サークル展開は？
3. 理解出来なかった

31	/	37	84%
6	/	37	16%
0	/	37	0%



<ご意見欄>

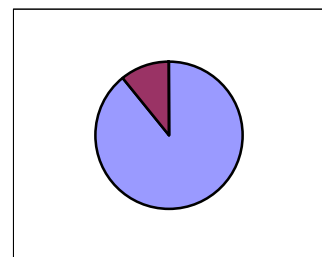
- ・働くど動くの違いを見わけて、自分の職場でもムダ取りをしていきたいです。
- ・ムダの説明に関して会議について着目して説明頂いたが、製造現場での実例を用いての説明があれば良かった。
- ・7つのムダと内容もハッキリとして分かり易く現場での展開に活かせる。
- ・生産性向上と合理化目標で人員の削減されている中ですが作業動作のムダ等を職場に戻り改善を進めたい。

- ・工程分析、作業分析により要素作業(単位作業)の価値を評価して、ムダ取りを進めること、付随作業のみならず付随作業の削減に取り組みたい。
- ・8N改善チェックシートは有効で我々の職場で活用し、改善に結びつけたい。
- ・「働き」と「動き」の説明が分かり易かった。
- ・「働き」と「動き」は別で、自分の仕事について考え、「動き」をいかに少なくするか必要だと思います。
- ・働きと動きの違いを理解したが我社で扱う製品にそのまま対応するのは難しい。可能な限りムダを排除していきたい。
- ・働きと動きの違いが良く理解出来た。今後の改善に活かせようと感じた。
- ・映像を取り入れ、具体的なムダ取りを教えてもらいたいです。
- ・動きのムダについては実行できるテーマだと思う。専門用語がよく分からなかったの、初めてにはキツイと思う。
- ・価値を働きと動きで、判断することが出来るようになった。お金を生む所を多く出来るように改善を今後もしていきたいと思った。
- ・職場内でムダを取り除き作業効率改善につなげたい。
- ・自社で運用し実施している内容もあったが、他のやり方もあると学んだので、資料を参考し取り入れていきたい。
- ・見方が変わったので展開しやすいかと思えます。
- ・これまで自分が働いていることだと思っていたが、実際付加価値のある働きをしているのは、ほんの一部しかない事に驚いた。これからは、動きを少なくし、働きを多くする事を考えたい。
- ・働きと動きの違いを、図解して頂き、分かり易くとても良かった。
- ・会社で進めているLMSの背景や意義が理解出来ました。
- ・「働き」と「動き」の違いを知る事が出来て良かったです。
- ・自分の会社は見た目重視なので、ムダ取りの展開が必要だと思った。
- ・7つのムダを参考に、現場でムダを探し出し、取り組んでいきたい。
- ・会社は量産の製品と試作の製品があり、両方に関わっていますが、試作は不良率が高い為にいつもロット数より多く作っています。自分では良い事とと思っていましたが、確かに時間も材料も場所もムダにしています。これからは、試作もムダ取りをしていきます。
- ・働くときと動きの違いについては、良く理解できる。ただし、動くときとゼロにする、近づけることは、難しいと考えています。間接業務なのですが、付加価値産生に寄与する仕事は数割です。何が働くで何が動くか切り分けて効率UPを図りたいです。
- ・目の付け所が参考になりました。
- ・7つのムダ、7つのムダ以外のムダを知ることができ、自社のムダを洗い出していきたい。
- ・会議のムダ、来週会議主催するが、事前準備十分にムダなく。漏れ分析の纏め方良かった。サークルプレゼン資料作成に参考する。お客からお金をもらえる、儲かる仕事は何か事務作業であっても考えていく。ムダ取りの着眼点シート利用する。現場を再度確認する。
- ・働きと動きの違いが良く理解出来よかった。7つのムダ以外も着眼し取り入れたい。
- ・職場でも付加価値の動きが沢山あり、ムダに時間を費やしている。段取りの方法、物の置き方、不良の出ない対策など改善を進めていきたい。
- ・現状を変えることが利益向上、人材育成の第一ステップであり、それをどのように担当者の末端まで落ち込むかが課題。よく話し、コミュニケーションを図り、改善に取り組む。

3. 演習について

1. 良く解り、自サークル展開出来る
2. 理解出来たが自サークル展開は？
3. 理解出来なかった

33	/	37	89%
4	/	37	11%
0	/	37	0%



<ご意見欄>

- ・ムダ取りなどの意見が聞けてよかったです。自分では思いつかなかった事などもあり勉強が出来ました。
- ・各出席者の環境の違いでなかなか進め方に苦労したが、色々な意見が出てグループ内で話し合いが出来た。
- ・問題点の取り上げ方法、QCの流れが演習でき、今後活かせる。
- ・班員全員が積極的に参画して活発に出来て良かった。
- ・色々な会社の人が集まったの演習で他の苦労が聞けて良かった。
- ・QC活動があまり活発とは言えないので、今後役に立たい。
- ・違う会社での意見でしたが、意外と話がまとまって良かったです。
- ・今回初めてこういった研修会に参加させて頂き勉強になりました。他業種の方達からの意見等参考すべき所がありましたのでこれから勉強していきたい。
- ・色々な会社の意見を聞く事が出来、新鮮だった。
- ・自社でもやっているが採用できる内容をふやしていきたい。
- ・今回学んだツールを活用して自社でも活動していきたいです。
- ・身近な問題を取り上げたが、対策が思った程でなかった。
- ・久しぶりに系統図を使い、思い出しました。
- ・“間違いはない”という自信を持って、今後どんどん意見を出し合ってQCをしていきたいと思えます。
- ・短い時間でまとめるのは大変でしたが、活動の進め方が良くわかった。
- ・他工場のいろんな意見が聞けたことで、今後の活動に活かしていきたい。
- ・最初の目的、主要因の立て方が難しかったです。具体的な例等、業務を通して学んでいきたいです。

- ・他社さんの色々な意見、苦労話など参考になった。
- ・改めてマトリクス図の重要性を知り、これからはより一層レベルアップを図りたい。
- ・はじめて合う方々であったが、うまく議論でき自信がついた。議事進行について勉強訓練必要。
- ・マトリクス図の方法が理解できたので活用したい。
- ・改善すべく、重点項目の重要性、問題点の原因、対策の効率性、実現性の捉え方がわかった。

4. 講義について、ご感想をお願いします

・講義 -

- ・不良などが出ると目をつぶりたくなるが、やはり打ち上げて改善すべきだと思いました。実際に自分の職場でも不良が出たおかげで職場が良くなりました。
- ・現場の見える化で活用できる物があり参考になった。
- ・管理板を設備して見える化を実施していきたいと思います。
- ・見える化について、特に後半は写真での説明が多かったので、具体的な事例で深い説明があると良かった。
- ・自職場に戻りさらに見える化を進めたい。
- ・プロセスを見える化するのが大事と感じた。
- ・活動実績を踏まえた説明でわかりやすかった。
- ・見える化の実例が多く、分かりやすいです。
- ・見える化について今まで自分が思っていた事と逆の事を学んだ。
- ・説明が分かり易かった
- ・自分が思っている「見える化」と違って、真の見える化を知ることが出来、大変勉強になりました。これからは研修会で習った見方で「見える化」を進めていきたいです。
- ・例が分かり易く、工場だけでなく皆さんの場所で「見える化」をすすめていると思った。
- ・悪い情報を提示するという事は、とても勉強になり言後取り入れたいと思いました。
- ・見える化の事例があり分かり易かった。
- ・駆け足ではあったが、分かり易い講義で身になるものだった。
- ・内容は難しくなく、分かり易いでした。
- ・問題に気づく力を養う事が重要である事を理解できました。
- ・QCCメンバーにも分かり易い説明でしたので、社内の多くの人にも伝えたい内容でした。
- ・「見える化」の考え方の違いに驚いた。悪い情報、良い情報×
- ・見える化がいかに重要なことなのかが理解でき良かった。具体例をたくさん見させて頂いたおかげで分かり易かった。
- ・普段気づかない様な所に、見える化の展開している事にびっくりした。この様な当たり前のことが、自社では出来ていないことがわかり問題が解決出来そうな所を直していきたい。
- ・視野を広げ、見えない物を見えるようにするにはどうしたらいいかを考え、今後の作業で展開していきたい。
- ・市川先生がフォークリフトのキズでその会社の印象がわかると言われた事が、お客様が見ている目線と同じなのだと思います。普段は目的が果たせればどうでも良いと思っていましたが、目線を変えていきたいと思います。
- ・運用はしていますが、やはり見えるようにしているだけのところがあります。自分が変われば...など、どうすればうまく運用できるのか、考えていきたいです。
- ・製造を担当しているので、部品全体を引っ張るようにしていきたい。
- ・仕事だけではなく、日常生活でも見える化を図りたいを思った。
- ・「なるほど」と言う共感出来るところがあり、実践してみたい。
- ・改善の重要性が良く理解できた。発想性を変えることが全体最適の近道であることを理解できた。

・講義 -

- ・ムダ取りはすごく難しく考えていたのですが、働く物を見つけ出しその周りを改善して動く物を減らす事に心がけたいと思います。
- ・製造現場でのムダを発見し改善につなげたいと思います。
- ・まだまだ自分達の職場にはムダがたくさんあると思います。今回の研修会で学んだ事を実施していきたいと思います。
- ・7つのムダに関して具体例があれば良かった。
- ・他社との交流もあり、ムダの見方の違いがある所に同感させられました。
- ・我々の職場も時短に取り組んでいるが、改善の手法として8N改善チェックシートを活用して実行してみたい。
- ・ムダに対する考え方がわかった。
- ・ムダ取りについてでしたが、いかに無価値作業を少なくしていくかが大事と感じました。
- ・今後、動きの部分を少なくする事を会社で実践出来るようにしたい。
- ・説明が分かり易かった
- ・自分の会社で置き換えて見ると、ムダが多くあると実感させられました。
- ・ムダの排除がもうかる5Sで、今やっている5Sの次のステージだと思いました。
- ・ムダの中でも、つくり過ぎのムダが一番ムダだと改めて知り、納得しました。動きではなく、動きを多く取り入れられるように現場を見ていきたいです。
- ・具体的なムダ取りのプロセスをもっとかみくだいて説明していただければ分かり易かったと思う。
- ・駆け足ではあったが、分かり易い講義で身になるものだった。
- ・社会に普段あるものが見える化になっている事がわかり、自社で実践する時も、難しく考えず、社会の中から応用出来る事がないか考えてみたい。

- ・付加価値を生む仕事重要で、働く事の定義を再認識出来ました。
- ・「もうかる5S」など、目からうろこが落ちる様な考えがありました。
- ・付加価値を生まない検査工程を少しでも削減していきたい。
- ・見える化とムダは密接で、ムダを取り除く為に見える化は必要であることがわかり良かった。
- ・「動く」と「働く」の違いにはびっくりさせられました。お客様はお金を払う立場なので、私達とは考えが違うというのわかりました。
- ・ムダと思われる物を見つけ出し、より良い作業性が出るように活動していきたい。
- ・日産の会議で意思決定者が参加しない事は大変良いと思います。良いアイデアがあっても出にくい事や、現場の人間が...
- ・ムダの具体性が良く分かった。「日産の会議」など会議自体のあり方が明確になった。
- ・自社のムダを見つけて改善につなげていきたい。
- ・体験談が多く、分かりやすい。
- ・問題点の明確、ムダの明確について気づくが重要であることが理解できた。

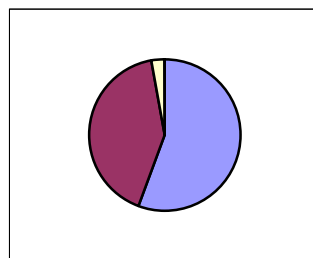
・演習

- ・みなさんと意見を出し合えて良かったです。色々な意見が聞けました。
- ・色々な人の意見が聞けて参考になりました。
- ・今後職場で問題点が出たら今日グループでやったようにみんなの話を聞きながら実践していきたいと思います。
- ・推進者の為の研修などあれば良い。環境の変化で請負現場も含めた活動の進め方など参考にしたい。
- ・実用できる演習も出来、今後のQCサークルに活かせる。
- ・もう少しつつこんで具体例を高めて時間をかけて行いたかった。
- ・参加した人の会話が上手いと思いました。(大変勉強になりました。)
- ・グループの中にQCを既に実施している方がおりましたので、大変参考になった。
- ・説明が分かり易かった。
- ・他会社のいろんな意見が出され、新しい情報等も聞くことが出来よかったです。
- ・結論がわかっているものが多くなってしまった。難しくてもチャレンジしていきたい。
- ・初めての人々と意見を出し合いディスカッション出来て良かった。いろいろな意見が出て勉強になった。
- ・主体性を持って参加することが出来た。
- ・様々な業種が集まり、テーマを決めて行うQCは勉強になる。
- ・メンバーが業務が様々で、いろんな意見が出てためになった。自社で展開する時には、コストなども考え、実現出来るのか話し合っていきたい。
- ・小集団活動を模擬実践出来た事は、良い経験となりました。
- ・役割分担の仕方、進み方～効果が大きく変わることを実感しました。
- ・分かり易く聞かせて頂きました。もう一度テキストを見直し、現場の仲間に回覧してみます。
- ・異業種の方々とディスカッション出来、自社での取り組み内容に入れたい。
- ・色々な職種・経歴の方々と話し合い、少ない時間で纏め上げることが出来、有意義な時間を過ごすことが出来ました。付箋紙を利用した演習やり易かったです。勉強になりました。
- ・様々な会社の方の意見が聞けて良かった。
- ・内容が「加工職場のムダ」ということで、自分の仕事内容だったので、意見が言い易かった。色々な人の話が聞けたので勉強になった。
- ・職場、部門が違う為、会社より難しかったと思います。
- ・GDの発表を皆さんの前でやる事が出来て良かった。
- ・初めて会ったいろいろな会社の方々と協力し、意見を出し合い一つのものを作り上げたことは楽しかった。
- ・見える化、改善、ムダ取りの流れで改善に持っていく方法を理解出来た。
- ・初対面の人との交流で纏めることが出来、色々な意見も聞け大変勉強になりました。
- ・問題を見つける力がつけられた。情報を共有できる課題で進められるとなお良い。

5. 研修全体について

1. 大変良く理解出来た
2. 大体理解できた
3. あまり良く理解出来なかった
4. 全く理解出来ない

20	/	37	54%
15	/	37	41%
1	/	37	3%
0	/	37	0%

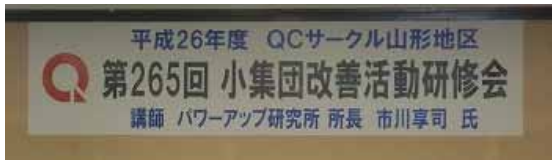


<ご意見欄>

- ・少し自分には難しそうと思ったのですが、話などを聞いていると、職場に戻ってから何か出来そうな気がします。
- ・事例が豊富で分かりやすかった。分量が多く帰宅して内容を見直したい。
- ・改善の為のいろんな手法はあるが、やはり大事なところは、自分を変える、意識を変えるという気持ちの部分が大事と感じた。
- ・「見える化」「ムダ取り」と演習の7時間でしたが、大変勉強になりました。これからのQCサークル活動に役立てていきたいです。
- ・上にも書きましたが、初めての研修で勉強不足を痛感した。これからもっと勉強し会社で実施したい。
- ・全体的に説明が分かり易く、今後の改善に活かせる研修会でした。

- ・ヒューマンエラーでも是非またお願いします。
- ・先生の話がとてもわかりやすく頭に入ってきて、とてもおもしろくまた勉強になりました。
- ・小集団について聞きたい。
- ・QCをあまり理解していなかったが、今回の研修は良かった。質疑応答にもあったが、他社、他業種のムダ取り事例を見てみたい。
- ・今度は、ヒューマンエラーの講義を受けたいです。
- ・製造業における、ヒューマンエラー削減の改善事例などの紹介も今後プログラムに組み込んで頂ければ幸いです。
- ・会社に帰ってから現在の方法の見直しをしたい点が幾つか見つかりました。参考になりました。ありがとうございました。
- ・一日中、立ちっぱなしで講義の先生はとてもお若いと思います。これからはがんばって下さい。
- ・人的ミスの講義を聞ければ良かった。
- ・ヒューマンエラーについての研修会をぜひ行って欲しいです。
- ・ムダ取りの話がためになりました。自社の活動はまだまだと思いました。
- ・QC活動の流れに関しては、あまり理解していなかったなので、今回の研修で勉強したことを活かしてQC活動を進めていきたい。
- ・会社で実行します！
- ・今までの5Sの考え方など、進んでいる内容があり、大変勉強になりました。全て理解できていないので先生の資料などもっと学んでいきたいと思います。
- ・変わることが必要と再認識しました。
- ・QCサークル、小集団活動初心者です。初心者コースの研修会希望します。
- ・先生の言葉一つ一つが心に染みしました。この経験を活かして自社での活動に努めていきたい。
- ・考え方、“給与のお金はお客様からいただいている”考え方が変わりました。
- ・会社での小集団活動につなげ、活発になるよう努力したいと思います。
- ・グループ分けで初対面との交流が難しいですが、実施した内容を今後につなげていきたいと思います。
- ・グループ演習もあり大変良く理解できた。

講義風景



講師：市川先生



開会の挨拶
秋保副地区長



オリエンテーション
村石副幹事長

【市川先生サイン入り本プレゼント ジャンケン大会開催】

*** 4名の方にプレゼントされました ***



グループ演習「"見える化"と"ムダ取り"」

*** 各社混合のグループに別れ、それぞれに議長、書記、発表者などを選出し熱い討議が行われグループディスカッションの成果を発表しました ***

1グループ



2グループ



3グループ



4グループ



5グループ

